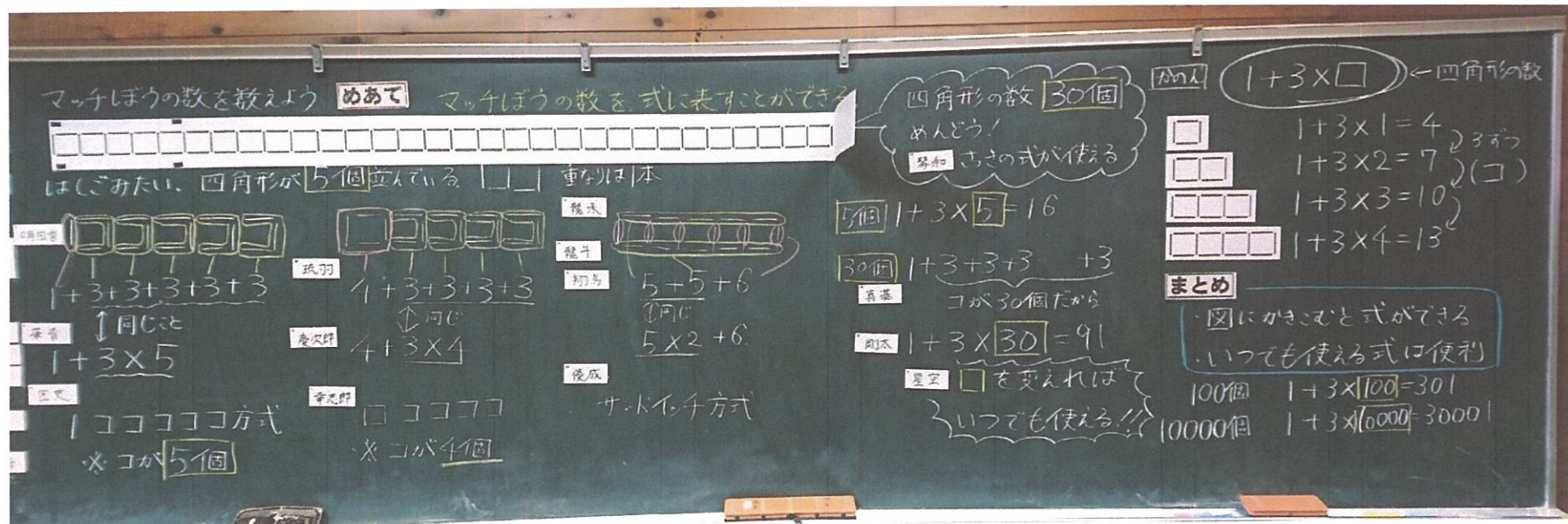


所属・職・授業者	御船町立木倉小学校・教諭・湯川 栄一
授業実践日	平成30年1月10日(水)4校時
学級	5年1組
教科書ページ	p33～
本時の目標	平行四辺形の面積の求め方を考え、説明することができる。
工夫したところ	既習事項である長方形の面積の求め方に着目させ、課題解決の見通しをもてるようにした。 一人学びの時間を確保し、自分の考えをもって、ペア・グループ学習ができるようにした。 代表児童に拡大シートに解き方を書かせ、考え方を共有化した。 児童の言葉を使って、解き方の流れが分かる名前をつけた。 「まとめ」では、児童の言葉を文章化した。



所属・職・授業者	益城町立広安小学校・教諭・水上洋平
授業実践日	平成29年11月2日(木)
学級	5年1組
教科書ページ	上 P102
本時の目標	伴って変わる2量の間係をとらえることができる。
工夫したところ	<p>導入では四角形が5個梯子状に並んだマッチ棒の図を数秒見せた後に隠し、マッチ棒の数を式で表させた。1人に全てを発表させるのではなく、他の子どもに続きを述べさせたり、再度同じことを述べさせたりする中で、考えの共有化を図った。</p> <p>式から図を考えさせたり図から式を考えさせたりしながら、式は関係や事柄を表すものという意識をもたせた。</p> <p>導入で見せた図を授業中盤でひっくり返すと、四角形が30個の梯子状に増えている仕掛けをつくり、「5個の時の式が使えないか」という、式の一般化に向かう必然性を生ませた。</p>

1/10(水)

① 1本0.3L入りのジュースがあります。このジュースを6本買ったら、ジュースは全部で何Lになりますか。

式  $0.3(L) \times 6(本)$

0.1Lが3つ → 整数

めあて  $0.3 \times 6$  の仕方を説明しよう。

数直線で

まとめ

小数は0.1が何に分と考えて、整数と同じように計算する。  
 $0.3(L)$  は  $0.1(L)$  が  $3$  とみる

言葉で

式で  $5$  瑞士郎

式  $0.3(L) \times 6(本) = 1.8(L)$

かけられる数を10倍して、積を10でわる

$3(L) \times 6(本) = 18(L)$

0.1が3つ

0.1が18つ

9 和海

小数×整数にするため、0.3を0.1が3つと見て計算する

P56 △ ①  $0.2 \times 6 = 1.2$     ②  $0.3 \times 5 = 1.5$     ③  $0.7 \times 9 = 6.3$

↓ ×10    ↑ ÷10    ↓ ×10    ↑ ÷10    ↓ ×10    ↑ ÷10

$2 \times 6 = 12$      $3 \times 5 = 15$      $7 \times 9 = 63$

月 十日 水 曜

日直 虎之助さん

所属・職・授業者	益城町立津森小学校・教諭・松本 秀之
授業実践日	平成30年1月10日(水)3校時
学級	4年1組
教科書ページ	p54～
本時の目標	整数×小数の計算の仕方を説明することができる。
工夫したところ	整数×整数で立式方法を確認した後、小数×整数の問題を解くための意欲を引き出すために、ジュースの写真を提示した。自力解決のヒントとなる考え方やキーワードを板書に残し、どのように考えるか見通しを持たせた。 計算の仕方を数直線、言葉、式で取り上げ関連づけるようにした。 使いやすさ・簡便性という視点で、ペアと全体で話し合い、式だけで計算できる方法を見つけた。 児童の言葉でまとめた後、適用問題に取り組み、確実に計算ができるよう見取りを行った。